



2024年2月6日

各 位

会 社 名 株式会社トレードワークス
代 表 者 名 代表取締役社長 浅見 勝弘
(コード：3997 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 安藤 千年
(TEL. 03-6230-8900)

通期業績予想及び配当予想の修正並びに特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)2023年12月期の通期業績予想数値の修正 (2023年1月1日～2023年12月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,500	340	340	220	67.23
今回修正予想 (B)	3,753	31	41	△53	△16.15
増 減 額 (B-A)	253	△309	△299	△273	
増 減 率 (%)	7.2	△90.9	△87.9	—	
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	3,270	318	327	200	58.87

(2)修正の理由

前回予想との乖離の主な要因を記載いたします。

売上高につきましては、ペガサス・システム株式会社を子会社化したことにより、売上におきましては大きく貢献し、前回予想数値と比較して2.5億円程度上回る見通しとなりました。しかしながら利益面につきましては、主軸であります金融ソリューション事業におきましてはISMS取得費用を含むセキュリティ強化関連費用およびサーバやPC等の価格高騰(70百万円)、システム開発にかかる原価が増加(84百万円)、好調な受注を売上計上に結びつけたものの、原価率の上昇を吸収するには至らず売上総利益は悪化し、加えて、M&Aによる子会社ペガサス・システム株式会社の取得に係る費用(38百万円)により、営業利益、経常利益は計画を下回りました。また、人員増による本社移転の費用による特別損失(1億円)の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益も計画を下回り、増収減益の見込みとなりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 2023年12月期の配当予想数値の修正

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2023年2月10日公表)	—	15円00銭	15円00銭
今回修正予想	—	20円00銭	20円00銭
当期実績	—		
前期実績 (2022年12月期)	—	15円00銭	15円00銭

(2) 修正の理由

当社は、経営基盤の強化を最優先し、将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を行っていくことを基本方針としております。一方で株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題のひとつと認識しており、配当予想の見直しを行い、2023年12月期の配当予想につきましては、繰越利益剰余金を勘案し、1株あたり20円に修正することといたしました。

3. 特別損失計上について

人員増による本社移転の費用により固定資産除却損として1億円を特別損失に計上しております。

※上記の予想は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。

以上